

TTC標準
Standard

JF-IETF-RFC3945

GMPLSのアーキテクチャ

〔 Generalized Multi-Protocol Label Switching (GMPLS)
Architecture 〕

第 1 版

2008 年 5 月 29 日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、
転用及びネットワーク上での送信、配布を行なうことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要.....	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定された RFC3945に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1 オプション選択項目

特になし。

2.2 ナショナルマター項目

特になし。

2.3 現標準に対する変更項目

特になし。

3. 改版の履歴

版 数	発 行 日	改 版 内 容
第1版	2008年5月29日	制定

4. 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

5. その他

(1)参照する勧告、標準など

IETF RFC : RFC 3031, RFC 3471, RFC 3472, RFC 3473, RFC 3474, RFC 4003, RFC 4139, RFC 4202, RFC 4203, RFC 4205, RFC 4206, RFC 4208, RFC 4257, RFC 4258, RFC 4328, RFC 4397, RFC 4426, RFC 4427, RFC 4428, RFC 4606, RFC 4783, RFC 4801, RFC 4802, RFC 4803, RFC 4872, RFC 4873, RFC 4920, RFC 4927, RFC 4929, RFC 4974, RFC 4990, RFC 5063

(2)本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定は全て準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容は、IETF RFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

情報転送専門委員会

1. 標準の概要

本標準は、GMPLS(Generalized Multi-Protocol Label Switching)のアーキテクチャについて述べている。GMPLSとは、MPLS(Multi-Protocol Label Switching)を、TDM(SONET/SDH,PDH,OTN), 波長(λ), 空間スイッチ(入力ポート・ファイバから出力ポート・ファイバ)に拡張した一般化されたMPLSのことである。GMPLSは、ルータ, スイッチ, DWDMシステム, 分岐挿入多重(ADM), フォトニッククロスコネクタ(PXC), オプティカルクロスコネクタ(OXC)などから構成されるネットワークにおいて、プロテクション、リストレーション技術を使って動的にリソースの割り当てと障害耐久性の目的のために有益である。本標準では、5種類のスイッチ能力の定義、MPLS制御プレーンの拡張と3つのプロトコル、MPLSとGMPLSの違い(GMPLS特有機能)について述べている。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記のIETF RFCによる。

IETF RFC3945 : 「Generalized Multi-Protocol Label Switching (GMPLS) Architecture」